ハ　舷側吹流し装置の支柱は、その長さが三メートル以上のものを投縄機の後部に設置し、支柱二メートル上部に少なくとも三本のおどしを設置すること。この場合、おどしの太さは、二十ミリメートル以上とし、おどし先端は、水面に触れる程度の十分な長さとすること。

二　夜間投縄

イ　当該海域における日出から日没後一時間までの間は、投縄を行わないこと。

ロ　船上の照明は、操業及び航海の安全を考慮した上で最小限のものとすること。

三　吹流し装置

イ　長さは、最低でも百メートルとすること。

ロ　枝縄が水中に沈む地点の風上側の船尾に、海面から五メートル以上の位置に保持できるように取り付け、餌の付いた鈎が沈む水域上空を捕捉できるようにすること。

ハ　おどしの取付間隔は、五メートル以内とし、絡みを防ぐためサルカンを使用すること。この場合、おどしの長さは、可能な限り水面近くに到達するものとすること。

ニ　吹流し装置の長さが百五十メートル未満の場合は、餌の付いた鈎が沈む水域上空を捕捉できるように、先端に牽引物を取り付けること。

四　吹流し装置（軽量型）

イ　長さは、最低でも百メートル又は漁船の全長の三倍の長さとすること。

ロ　枝縄が水中に沈む地点の風上側の船尾に、海面から五メートル以上の位置に保持できるように取り付け、餌の付いた鈎が沈む水域上空を捕捉できるようにすること。

ハ　おどしの取付間隔は、一メートル以内とし、おどしの長さは、最低でも三十センチメートルとすること。

五　加重枝縄

イ　鈎から一メートル以内に錘を取り付ける場合は、四十五グラム以上六十グラム未満の錘を取り付けること。

ロ　鈎から三・五メートル以内に錘を取り付ける場合は、六十グラム以上九十八グラム未満の錘を取り付けること。

ハ　鈎から四メートル以内に錘を取り付ける場合は、九十八グラム以上の錘を取り付けること。

六　青色染色餌　食品衛生法施行規則別表第一に掲げる食用青色一号で染色をすること。

七　残さ排出管理（イ又はロのいずれかを実施すること。）

イ　投縄及び揚縄中に残さ排出を行わないこと。

ロ　投縄・揚縄を行う舷側の反対側の舷側から残さ排出を行うこと。

1　次に掲げる漁具のうち少なくとも二以上の種類の漁具を使用し、かつ、第一号から第三号までに掲げる漁具のうち少なくとも一以上の種類を使用しなければならない。

一　夜間投縄

二　吹流し装置

三　加重枝縄

四　青色染色いか餌

五　残さ排出管理

六　投縄装置（投縄機又は水中投縄機）

2　前項に掲げる漁具については、それぞれ次に掲げる方法により使用しなければならない。

一　夜間投縄

イ　天測暦による当該海域の日出から日没までの間は、投縄を行わないこと。

ロ　船上の照明は、操業及び航海の安全を考慮した上で最小限のものとすること。

二　吹流し装置

イ　長さは、最低でも百メートルとすること。

ロ　長さが百五十メートル未満の場合は、吹流しの張りを維持するために、先端に牽引物を取り付けること。

ハ　水面上にある吹流しは、細く丈夫なもので、赤色、橙色又は黄色のはっきりとした色とすること。この場合、海鳥類の順応を防ぐ運動性を確保するため、三又サルカンで取り付けること。この場合、おどしの長さは、可能な限り水面近くに到達するものとすること。

ニ　おどしは、赤色、橙色又は黄色のはっきりとした色とし、おどし効果のある運動性を確保するため、三又サルカンで取り付けること。この場合、おどしの長さは、可能な限り水面近くに到達するものとすること。

ホ　おどしの取付けは、一組ずつとし、間隔は五メートル以内とすること。

ヘ　吹流し装置は、投縄前に設置し使用すること。

ト　枝縄が水中に沈む地点の風上側の船尾に、海面から五メートル以上の位置に保持できるように取り付けること。

チ　予備の吹流し装置を保持すること。

四　オーストラリアの南海岸線と東経百四十一度の線との交点から南緯五十五度東経百四十一度の点に至る直線、南緯五十五度東経百四十一度の点から南緯五十五度東経八十度の点に至る直線、南緯五十五度東経八十度の点から南緯四十五度東経八十度の点に至る直線、南緯四十五度東経九十度の点から南緯四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四十五度東経百十度の点から南緯五十度東経百十度の点に至る直線、南緯五十度東経百十度の点から南緯五十度東経百五度の点に至る直線、南緯五十度東経百五度の点から南緯四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四十五度東経百十度の点から南緯四十度東経百十度の点に至る直線、南緯四十度東経百十度の点から南緯三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三十五度東経百十度の点から南緯三十度東経百十度の点に至る直線、南緯三十度東経百十度の点から南緯二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二十五度東経百十度の点から南緯二十度東経百十度の点に至る直線、南緯二十度東経百十度の点から南緯十五度東経百十度の点に至る直線、南緯十五度東経百十度の点から南緯十度東経百十度の点に至る直線、南緯十度東経百十度の点から南緯五度東経百十度の点に至る直線、南緯五度東経百十度の点から南緯零度東経百十度の点に至る直線、南緯零度東経百十度の点から南緯五度東経百十度の点に至る直線、南緯五度東経百十度の点から南緯十度東経百十度の点に至る直線、南緯十度東経百十度の点から南緯十五度東経百十度の点に至る直線、南緯十五度東経百十度の点から南緯二十度東経百十度の点に至る直線、南緯二十度東経百十度の点から南緯二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二十五度東経百十度の点から南緯三十度東経百十度の点に至る直線、南緯三十度東経百十度の点から南緯三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三十五度東経百十度の点から南緯四十度東経百十度の点に至る直線、南緯四十度東経百十度の点から南緯四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四十五度東経百十度の点から南緯五十度東経百十度の点に至る直線、南緯五十度東経百十度の点から南緯五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五十五度東経百十度の点から南緯六十度東経百十度の点に至る直線、南緯六十度東経百十度の点から南緯六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六十五度東経百十度の点から南緯七十度東経百十度の点に至る直線、南緯七十度東経百十度の点から南緯七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七十五度東経百十度の点から南緯八十度東経百十度の点に至る直線、南緯八十度東経百十度の点から南緯八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八十五度東経百十度の点から南緯九十度東経百十度の点に至る直線、南緯九十度東経百十度の点から南緯九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九十五度東経百十度の点から南緯百度東経百十度の点に至る直線、南緯百度東経百十度の点から南緯百五度東経百十度の点に至る直線、南緯百五度東経百十度の点から南緯百十度東経百十度の点に至る直線、南緯百十度東経百十度の点から南緯百十五度東経百十度の点に至る直線、南緯百十五度東経百十度の点から南緯百二十度東経百十度の点に至る直線、南緯百二十度東経百十度の点から南緯百二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯百二十五度東経百十度の点から南緯百三十度東経百十度の点に至る直線、南緯百三十度東経百十度の点から南緯百三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯百三十五度東経百十度の点から南緯百四十度東経百十度の点に至る直線、南緯百四十度東経百十度の点から南緯百四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯百四十五度東経百十度の点から南緯百五十度東経百十度の点に至る直線、南緯百五十度東経百十度の点から南緯百五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯百五十五度東経百十度の点から南緯百六十度東経百十度の点に至る直線、南緯百六十度東経百十度の点から南緯百六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯百六十五度東経百十度の点から南緯百七十度東経百十度の点に至る直線、南緯百七十度東経百十度の点から南緯百七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯百七十五度東経百十度の点から南緯百八十度東経百十度の点に至る直線、南緯百八十度東経百十度の点から南緯百八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯百八十五度東経百十度の点から南緯百九十度東経百十度の点に至る直線、南緯百九十度東経百十度の点から南緯百九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯百九十五度東経百十度の点から南緯二百度東経百十度の点に至る直線、南緯二百度東経百十度の点から南緯二百五度東経百十度の点に至る直線、南緯二百五度東経百十度の点から南緯二百十度東経百十度の点に至る直線、南緯二百十度東経百十度の点から南緯二百十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二百十五度東経百十度の点から南緯二百二十度東経百十度の点に至る直線、南緯二百二十度東経百十度の点から南緯二百二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二百二十五度東経百十度の点から南緯二百三十度東経百十度の点に至る直線、南緯二百三十度東経百十度の点から南緯二百三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二百三十五度東経百十度の点から南緯二百四十度東経百十度の点に至る直線、南緯二百四十度東経百十度の点から南緯二百四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二百四十五度東経百十度の点から南緯二百五十度東経百十度の点に至る直線、南緯二百五十度東経百十度の点から南緯二百五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二百五十五度東経百十度の点から南緯二百六十度東経百十度の点に至る直線、南緯二百六十度東経百十度の点から南緯二百六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二百六十五度東経百十度の点から南緯二百七十度東経百十度の点に至る直線、南緯二百七十度東経百十度の点から南緯二百七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二百七十五度東経百十度の点から南緯二百八十度東経百十度の点に至る直線、南緯二百八十度東経百十度の点から南緯二百八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二百八十五度東経百十度の点から南緯二百九十度東経百十度の点に至る直線、南緯二百九十度東経百十度の点から南緯二百九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二百九十五度東経百十度の点から南緯三百度東経百十度の点に至る直線、南緯三百度東経百十度の点から南緯三百五度東経百十度の点に至る直線、南緯三百五度東経百十度の点から南緯三百十度東経百十度の点に至る直線、南緯三百十度東経百十度の点から南緯三百十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三百十五度東経百十度の点から南緯三百二十度東経百十度の点に至る直線、南緯三百二十度東経百十度の点から南緯三百二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三百二十五度東経百十度の点から南緯三百三十度東経百十度の点に至る直線、南緯三百三十度東経百十度の点から南緯三百三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三百三十五度東経百十度の点から南緯三百四十度東経百十度の点に至る直線、南緯三百四十度東経百十度の点から南緯三百四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三百四十五度東経百十度の点から南緯三百五十度東経百十度の点に至る直線、南緯三百五十度東経百十度の点から南緯三百五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三百五十五度東経百十度の点から南緯三百六十度東経百十度の点に至る直線、南緯三百六十度東経百十度の点から南緯三百六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三百六十五度東経百十度の点から南緯三百七十度東経百十度の点に至る直線、南緯三百七十度東経百十度の点から南緯三百七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三百七十五度東経百十度の点から南緯三百八十度東経百十度の点に至る直線、南緯三百八十度東経百十度の点から南緯三百八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三百八十五度東経百十度の点から南緯三百九十度東経百十度の点に至る直線、南緯三百九十度東経百十度の点から南緯三百九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三百九十五度東経百十度の点から南緯四百度東経百十度の点に至る直線、南緯四百度東経百十度の点から南緯四百五度東経百十度の点に至る直線、南緯四百五度東経百十度の点から南緯四百十度東経百十度の点に至る直線、南緯四百十度東経百十度の点から南緯四百十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四百十五度東経百十度の点から南緯四百二十度東経百十度の点に至る直線、南緯四百二十度東経百十度の点から南緯四百二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四百二十五度東経百十度の点から南緯四百三十度東経百十度の点に至る直線、南緯四百三十度東経百十度の点から南緯四百三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四百三十五度東経百十度の点から南緯四百四十度東経百十度の点に至る直線、南緯四百四十度東経百十度の点から南緯四百四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四百四十五度東経百十度の点から南緯四百五十度東経百十度の点に至る直線、南緯四百五十度東経百十度の点から南緯四百五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四百五十五度東経百十度の点から南緯四百六十度東経百十度の点に至る直線、南緯四百六十度東経百十度の点から南緯四百六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四百六十五度東経百十度の点から南緯四百七十度東経百十度の点に至る直線、南緯四百七十度東経百十度の点から南緯四百七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四百七十五度東経百十度の点から南緯四百八十度東経百十度の点に至る直線、南緯四百八十度東経百十度の点から南緯四百八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四百八十五度東経百十度の点から南緯四百九十度東経百十度の点に至る直線、南緯四百九十度東経百十度の点から南緯四百九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四百九十五度東経百十度の点から南緯五百度東経百十度の点に至る直線、南緯五百度東経百十度の点から南緯五百五度東経百十度の点に至る直線、南緯五百五度東経百十度の点から南緯五百十度東経百十度の点に至る直線、南緯五百十度東経百十度の点から南緯五百十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五百十五度東経百十度の点から南緯五百二十度東経百十度の点に至る直線、南緯五百二十度東経百十度の点から南緯五百二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五百二十五度東経百十度の点から南緯五百三十度東経百十度の点に至る直線、南緯五百三十度東経百十度の点から南緯五百三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五百三十五度東経百十度の点から南緯五百四十度東経百十度の点に至る直線、南緯五百四十度東経百十度の点から南緯五百四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五百四十五度東経百十度の点から南緯五百五十度東経百十度の点に至る直線、南緯五百五十度東経百十度の点から南緯五百五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五百五十五度東経百十度の点から南緯五百六十度東経百十度の点に至る直線、南緯五百六十度東経百十度の点から南緯五百六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五百六十五度東経百十度の点から南緯五百七十度東経百十度の点に至る直線、南緯五百七十度東経百十度の点から南緯五百七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五百七十五度東経百十度の点から南緯五百八十度東経百十度の点に至る直線、南緯五百八十度東経百十度の点から南緯五百八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五百八十五度東経百十度の点から南緯五百九十度東経百十度の点に至る直線、南緯五百九十度東経百十度の点から南緯五百九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五百九十五度東経百十度の点から南緯六百度東経百十度の点に至る直線、南緯六百度東経百十度の点から南緯六百五度東経百十度の点に至る直線、南緯六百五度東経百十度の点から南緯六百十度東経百十度の点に至る直線、南緯六百十度東経百十度の点から南緯六百十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六百十五度東経百十度の点から南緯六百二十度東経百十度の点に至る直線、南緯六百二十度東経百十度の点から南緯六百二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六百二十五度東経百十度の点から南緯六百三十度東経百十度の点に至る直線、南緯六百三十度東経百十度の点から南緯六百三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六百三十五度東経百十度の点から南緯六百四十度東経百十度の点に至る直線、南緯六百四十度東経百十度の点から南緯六百四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六百四十五度東経百十度の点から南緯六百五十度東経百十度の点に至る直線、南緯六百五十度東経百十度の点から南緯六百五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六百五十五度東経百十度の点から南緯六百六十度東経百十度の点に至る直線、南緯六百六十度東経百十度の点から南緯六百六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六百六十五度東経百十度の点から南緯六百七十度東経百十度の点に至る直線、南緯六百七十度東経百十度の点から南緯六百七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六百七十五度東経百十度の点から南緯六百八十度東経百十度の点に至る直線、南緯六百八十度東経百十度の点から南緯六百八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六百八十五度東経百十度の点から南緯六百九十度東経百十度の点に至る直線、南緯六百九十度東経百十度の点から南緯六百九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六百九十五度東経百十度の点から南緯七百度東経百十度の点に至る直線、南緯七百度東経百十度の点から南緯七百五度東経百十度の点に至る直線、南緯七百五度東経百十度の点から南緯七百十度東経百十度の点に至る直線、南緯七百十度東経百十度の点から南緯七百十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七百十五度東経百十度の点から南緯七百二十度東経百十度の点に至る直線、南緯七百二十度東経百十度の点から南緯七百二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七百二十五度東経百十度の点から南緯七百三十度東経百十度の点に至る直線、南緯七百三十度東経百十度の点から南緯七百三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七百三十五度東経百十度の点から南緯七百四十度東経百十度の点に至る直線、南緯七百四十度東経百十度の点から南緯七百四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七百四十五度東経百十度の点から南緯七百五十度東経百十度の点に至る直線、南緯七百五十度東経百十度の点から南緯七百五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七百五十五度東経百十度の点から南緯七百六十度東経百十度の点に至る直線、南緯七百六十度東経百十度の点から南緯七百六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七百六十五度東経百十度の点から南緯七百七十度東経百十度の点に至る直線、南緯七百七十度東経百十度の点から南緯七百七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七百七十五度東経百十度の点から南緯七百八十度東経百十度の点に至る直線、南緯七百八十度東経百十度の点から南緯七百八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七百八十五度東経百十度の点から南緯七百九十度東経百十度の点に至る直線、南緯七百九十度東経百十度の点から南緯七百九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七百九十五度東経百十度の点から南緯八百度東経百十度の点に至る直線、南緯八百度東経百十度の点から南緯八百五度東経百十度の点に至る直線、南緯八百五度東経百十度の点から南緯八百十度東経百十度の点に至る直線、南緯八百十度東経百十度の点から南緯八百十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八百十五度東経百十度の点から南緯八百二十度東経百十度の点に至る直線、南緯八百二十度東経百十度の点から南緯八百二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八百二十五度東経百十度の点から南緯八百三十度東経百十度の点に至る直線、南緯八百三十度東経百十度の点から南緯八百三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八百三十五度東経百十度の点から南緯八百四十度東経百十度の点に至る直線、南緯八百四十度東経百十度の点から南緯八百四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八百四十五度東経百十度の点から南緯八百五十度東経百十度の点に至る直線、南緯八百五十度東経百十度の点から南緯八百五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八百五十五度東経百十度の点から南緯八百六十度東経百十度の点に至る直線、南緯八百六十度東経百十度の点から南緯八百六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八百六十五度東経百十度の点から南緯八百七十度東経百十度の点に至る直線、南緯八百七十度東経百十度の点から南緯八百七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八百七十五度東経百十度の点から南緯八百八十度東経百十度の点に至る直線、南緯八百八十度東経百十度の点から南緯八百八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八百八十五度東経百十度の点から南緯八百九十度東経百十度の点に至る直線、南緯八百九十度東経百十度の点から南緯八百九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八百九十五度東経百十度の点から南緯九百度東経百十度の点に至る直線、南緯九百度東経百十度の点から南緯九百五度東経百十度の点に至る直線、南緯九百五度東経百十度の点から南緯九百十度東経百十度の点に至る直線、南緯九百十度東経百十度の点から南緯九百十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九百十五度東経百十度の点から南緯九百二十度東経百十度の点に至る直線、南緯九百二十度東経百十度の点から南緯九百二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九百二十五度東経百十度の点から南緯九百三十度東経百十度の点に至る直線、南緯九百三十度東経百十度の点から南緯九百三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九百三十五度東経百十度の点から南緯九百四十度東経百十度の点に至る直線、南緯九百四十度東経百十度の点から南緯九百四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九百四十五度東経百十度の点から南緯九百五十度東経百十度の点に至る直線、南緯九百五十度東経百十度の点から南緯九百五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九百五十五度東経百十度の点から南緯九百六十度東経百十度の点に至る直線、南緯九百六十度東経百十度の点から南緯九百六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九百六十五度東経百十度の点から南緯九百七十度東経百十度の点に至る直線、南緯九百七十度東経百十度の点から南緯九百七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九百七十五度東経百十度の点から南緯九百八十度東経百十度の点に至る直線、南緯九百八十度東経百十度の点から南緯九百八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九百八十五度東経百十度の点から南緯九百九十度東経百十度の点に至る直線、南緯九百九十度東経百十度の点から南緯九百九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九百九十五度東経百十度の点から南緯千度東経百十度の点に至る直線、南緯千度東経百十度の点から南緯千五度東経百十度の点に至る直線、南緯千五度東経百十度の点から南緯千十度東経百十度の点に至る直線、南緯千十度東経百十度の点から南緯千十五度東経百十度の点に至る直線、南緯千十五度東経百十度の点から南緯千二十度東経百十度の点に至る直線、南緯千二十度東経百十度の点から南緯千二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯千二十五度東経百十度の点から南緯千三十度東経百十度の点に至る直線、南緯千三十度東経百十度の点から南緯千三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯千三十五度東経百十度の点から南緯千四十度東経百十度の点に至る直線、南緯千四十度東経百十度の点から南緯千四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯千四十五度東経百十度の点から南緯千五十度東経百十度の点に至る直線、南緯千五十度東経百十度の点から南緯千五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯千五十五度東経百十度の点から南緯千六十度東経百十度の点に至る直線、南緯千六十度東経百十度の点から南緯千六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯千六十五度東経百十度の点から南緯千七十度東経百十度の点に至る直線、南緯千七十度東経百十度の点から南緯千七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯千七十五度東経百十度の点から南緯千八十度東経百十度の点に至る直線、南緯千八十度東経百十度の点から南緯千八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯千八十五度東経百十度の点から南緯千九十度東経百十度の点に至る直線、南緯千九十度東経百十度の点から南緯千九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯千九十五度東経百十度の点から南緯二千度東経百十度の点に至る直線、南緯二千度東経百十度の点から南緯二千五度東経百十度の点に至る直線、南緯二千五度東経百十度の点から南緯二千十度東経百十度の点に至る直線、南緯二千十度東経百十度の点から南緯二千十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二千十五度東経百十度の点から南緯二千二十度東経百十度の点に至る直線、南緯二千二十度東経百十度の点から南緯二千二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二千二十五度東経百十度の点から南緯二千三十度東経百十度の点に至る直線、南緯二千三十度東経百十度の点から南緯二千三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二千三十五度東経百十度の点から南緯二千四十度東経百十度の点に至る直線、南緯二千四十度東経百十度の点から南緯二千四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二千四十五度東経百十度の点から南緯二千五十度東経百十度の点に至る直線、南緯二千五十度東経百十度の点から南緯二千五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二千五十五度東経百十度の点から南緯二千六十度東経百十度の点に至る直線、南緯二千六十度東経百十度の点から南緯二千六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二千六十五度東経百十度の点から南緯二千七十度東経百十度の点に至る直線、南緯二千七十度東経百十度の点から南緯二千七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二千七十五度東経百十度の点から南緯二千八十度東経百十度の点に至る直線、南緯二千八十度東経百十度の点から南緯二千八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二千八十五度東経百十度の点から南緯二千九十度東経百十度の点に至る直線、南緯二千九十度東経百十度の点から南緯二千九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯二千九十五度東経百十度の点から南緯三千度東経百十度の点に至る直線、南緯三千度東経百十度の点から南緯三千五度東経百十度の点に至る直線、南緯三千五度東経百十度の点から南緯三千十度東経百十度の点に至る直線、南緯三千十度東経百十度の点から南緯三千十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三千十五度東経百十度の点から南緯三千二十度東経百十度の点に至る直線、南緯三千二十度東経百十度の点から南緯三千二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三千二十五度東経百十度の点から南緯三千三十度東経百十度の点に至る直線、南緯三千三十度東経百十度の点から南緯三千三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三千三十五度東経百十度の点から南緯三千四十度東経百十度の点に至る直線、南緯三千四十度東経百十度の点から南緯三千四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三千四十五度東経百十度の点から南緯三千五十度東経百十度の点に至る直線、南緯三千五十度東経百十度の点から南緯三千五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三千五十五度東経百十度の点から南緯三千六十度東経百十度の点に至る直線、南緯三千六十度東経百十度の点から南緯三千六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三千六十五度東経百十度の点から南緯三千七十度東経百十度の点に至る直線、南緯三千七十度東経百十度の点から南緯三千七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三千七十五度東経百十度の点から南緯三千八十度東経百十度の点に至る直線、南緯三千八十度東経百十度の点から南緯三千八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三千八十五度東経百十度の点から南緯三千九十度東経百十度の点に至る直線、南緯三千九十度東経百十度の点から南緯三千九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯三千九十五度東経百十度の点から南緯四千度東経百十度の点に至る直線、南緯四千度東経百十度の点から南緯四千五度東経百十度の点に至る直線、南緯四千五度東経百十度の点から南緯四千十度東経百十度の点に至る直線、南緯四千十度東経百十度の点から南緯四千十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四千十五度東経百十度の点から南緯四千二十度東経百十度の点に至る直線、南緯四千二十度東経百十度の点から南緯四千二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四千二十五度東経百十度の点から南緯四千三十度東経百十度の点に至る直線、南緯四千三十度東経百十度の点から南緯四千三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四千三十五度東経百十度の点から南緯四千四十度東経百十度の点に至る直線、南緯四千四十度東経百十度の点から南緯四千四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四千四十五度東経百十度の点から南緯四千五十度東経百十度の点に至る直線、南緯四千五十度東経百十度の点から南緯四千五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四千五十五度東経百十度の点から南緯四千六十度東経百十度の点に至る直線、南緯四千六十度東経百十度の点から南緯四千六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四千六十五度東経百十度の点から南緯四千七十度東経百十度の点に至る直線、南緯四千七十度東経百十度の点から南緯四千七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四千七十五度東経百十度の点から南緯四千八十度東経百十度の点に至る直線、南緯四千八十度東経百十度の点から南緯四千八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四千八十五度東経百十度の点から南緯四千九十度東経百十度の点に至る直線、南緯四千九十度東経百十度の点から南緯四千九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯四千九十五度東経百十度の点から南緯五千度東経百十度の点に至る直線、南緯五千度東経百十度の点から南緯五千五度東経百十度の点に至る直線、南緯五千五度東経百十度の点から南緯五千十度東経百十度の点に至る直線、南緯五千十度東経百十度の点から南緯五千十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五千十五度東経百十度の点から南緯五千二十度東経百十度の点に至る直線、南緯五千二十度東経百十度の点から南緯五千二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五千二十五度東経百十度の点から南緯五千三十度東経百十度の点に至る直線、南緯五千三十度東経百十度の点から南緯五千三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五千三十五度東経百十度の点から南緯五千四十度東経百十度の点に至る直線、南緯五千四十度東経百十度の点から南緯五千四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五千四十五度東経百十度の点から南緯五千五十度東経百十度の点に至る直線、南緯五千五十度東経百十度の点から南緯五千五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五千五十五度東経百十度の点から南緯五千六十度東経百十度の点に至る直線、南緯五千六十度東経百十度の点から南緯五千六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五千六十五度東経百十度の点から南緯五千七十度東経百十度の点に至る直線、南緯五千七十度東経百十度の点から南緯五千七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五千七十五度東経百十度の点から南緯五千八十度東経百十度の点に至る直線、南緯五千八十度東経百十度の点から南緯五千八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五千八十五度東経百十度の点から南緯五千九十度東経百十度の点に至る直線、南緯五千九十度東経百十度の点から南緯五千九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯五千九十五度東経百十度の点から南緯六千度東経百十度の点に至る直線、南緯六千度東経百十度の点から南緯六千五度東経百十度の点に至る直線、南緯六千五度東経百十度の点から南緯六千十度東経百十度の点に至る直線、南緯六千十度東経百十度の点から南緯六千十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六千十五度東経百十度の点から南緯六千二十度東経百十度の点に至る直線、南緯六千二十度東経百十度の点から南緯六千二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六千二十五度東経百十度の点から南緯六千三十度東経百十度の点に至る直線、南緯六千三十度東経百十度の点から南緯六千三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六千三十五度東経百十度の点から南緯六千四十度東経百十度の点に至る直線、南緯六千四十度東経百十度の点から南緯六千四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六千四十五度東経百十度の点から南緯六千五十度東経百十度の点に至る直線、南緯六千五十度東経百十度の点から南緯六千五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六千五十五度東経百十度の点から南緯六千六十度東経百十度の点に至る直線、南緯六千六十度東経百十度の点から南緯六千六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六千六十五度東経百十度の点から南緯六千七十度東経百十度の点に至る直線、南緯六千七十度東経百十度の点から南緯六千七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六千七十五度東経百十度の点から南緯六千八十度東経百十度の点に至る直線、南緯六千八十度東経百十度の点から南緯六千八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六千八十五度東経百十度の点から南緯六千九十度東経百十度の点に至る直線、南緯六千九十度東経百十度の点から南緯六千九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯六千九十五度東経百十度の点から南緯七千度東経百十度の点に至る直線、南緯七千度東経百十度の点から南緯七千五度東経百十度の点に至る直線、南緯七千五度東経百十度の点から南緯七千十度東経百十度の点に至る直線、南緯七千十度東経百十度の点から南緯七千十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七千十五度東経百十度の点から南緯七千二十度東経百十度の点に至る直線、南緯七千二十度東経百十度の点から南緯七千二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七千二十五度東経百十度の点から南緯七千三十度東経百十度の点に至る直線、南緯七千三十度東経百十度の点から南緯七千三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七千三十五度東経百十度の点から南緯七千四十度東経百十度の点に至る直線、南緯七千四十度東経百十度の点から南緯七千四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七千四十五度東経百十度の点から南緯七千五十度東経百十度の点に至る直線、南緯七千五十度東経百十度の点から南緯七千五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七千五十五度東経百十度の点から南緯七千六十度東経百十度の点に至る直線、南緯七千六十度東経百十度の点から南緯七千六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七千六十五度東経百十度の点から南緯七千七十度東経百十度の点に至る直線、南緯七千七十度東経百十度の点から南緯七千七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七千七十五度東経百十度の点から南緯七千八十度東経百十度の点に至る直線、南緯七千八十度東経百十度の点から南緯七千八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七千八十五度東経百十度の点から南緯七千九十度東経百十度の点に至る直線、南緯七千九十度東経百十度の点から南緯七千九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯七千九十五度東経百十度の点から南緯八千度東経百十度の点に至る直線、南緯八千度東経百十度の点から南緯八千五度東経百十度の点に至る直線、南緯八千五度東経百十度の点から南緯八千十度東経百十度の点に至る直線、南緯八千十度東経百十度の点から南緯八千十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八千十五度東経百十度の点から南緯八千二十度東経百十度の点に至る直線、南緯八千二十度東経百十度の点から南緯八千二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八千二十五度東経百十度の点から南緯八千三十度東経百十度の点に至る直線、南緯八千三十度東経百十度の点から南緯八千三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八千三十五度東経百十度の点から南緯八千四十度東経百十度の点に至る直線、南緯八千四十度東経百十度の点から南緯八千四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八千四十五度東経百十度の点から南緯八千五十度東経百十度の点に至る直線、南緯八千五十度東経百十度の点から南緯八千五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八千五十五度東経百十度の点から南緯八千六十度東経百十度の点に至る直線、南緯八千六十度東経百十度の点から南緯八千六十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八千六十五度東経百十度の点から南緯八千七十度東経百十度の点に至る直線、南緯八千七十度東経百十度の点から南緯八千七十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八千七十五度東経百十度の点から南緯八千八十度東経百十度の点に至る直線、南緯八千八十度東経百十度の点から南緯八千八十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八千八十五度東経百十度の点から南緯八千九十度東経百十度の点に至る直線、南緯八千九十度東経百十度の点から南緯八千九十五度東経百十度の点に至る直線、南緯八千九十五度東経百十度の点から南緯九千度東経百十度の点に至る直線、南緯九千度東経百十度の点から南緯九千五度東経百十度の点に至る直線、南緯九千五度東経百十度の点から南緯九千十度東経百十度の点に至る直線、南緯九千十度東経百十度の点から南緯九千十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九千十五度東経百十度の点から南緯九千二十度東経百十度の点に至る直線、南緯九千二十度東経百十度の点から南緯九千二十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九千二十五度東経百十度の点から南緯九千三十度東経百十度の点に至る直線、南緯九千三十度東経百十度の点から南緯九千三十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九千三十五度東経百十度の点から南緯九千四十度東経百十度の点に至る直線、南緯九千四十度東経百十度の点から南緯九千四十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九千四十五度東経百十度の点から南緯九千五十度東経百十度の点に至る直線、南緯九千五十度東経百十度の点から南緯九千五十五度東経百十度の点に至る直線、南緯九千五十五度東経百十度の点から南緯九千六十度東経百十度の点に至る直線、南緯九千六十度東経百十度の